

## 2023 年度 第 6 回部長会議 会議録（要旨）

日時 2023年 7 月13日（木） 午前 8 時28分～11時02分

場所 理事者控室

出席者

市長、副市長、教育長、議会事務局長、総務部長、健康福祉部長、市民環境部長、社会共創部長、産業振興部長、まちづくり推進部長、会計管理者、水道局長、消防次長、教育次長、総務課課長補佐兼庶務係長、財政課長、子ども課長、政策推進課長、同課長補佐兼政策秘書係長、同課長補佐兼広聴広報係長、同課政策秘書係（書記）

会議状況（・は主な意見等）

### 1 開会

### 2 市長あいさつ

- ・婚活のチラシを見て感じたことだが、「須坂」だけでなく、「須坂『市』」と入れてもらいたい。須坂という地名は千曲市にもある。ふるさと納税でも、須坂だけではどこのことかわからないという声があった。  
(その後、全国的に事業を展開されている経営者から、チラシなどは「須坂市」に「長野県」を加え、「長野県須坂市」とすべきとのご提言をいただいた。)
- ・正しいことをきちっとやっていくことが大事。市民のクレームについても、困って言っているのか、そうでないのかの判断をしてもらいたい。
- ・建匠須高から素晴らしい要望書いただいた。現場の感覚・意見はとても大事。市の施設 3 か所について非常に使い勝手が悪いとの意見だったが、その施設は設計する人の強い意思が入っていたとのこと。市民の立場に立ち、その仕事、設計がよいか、考えていくことが大事。設計者に気をつかうことは、必ずしも市民のためにはならない。
- ・鮎川水系四町との懇談会に出席した。話題に上がったのが、「ある開発事業者から、防犯灯の設置費用について、半分は出すが、半分は市の補助金を出してもらおうようにと言われた」という話。米持区長はこれに対して「補助金も市民の税金です」とおっしゃったとのこと。区だけでなく、市全体を考えての発言であり、とても立派なことを言っていたと思うている。
- ・我々の仕事も、市全体を考えて、市民の利益になるかを考えて取り組んでももらいたい。相手に言われたから、言われたとおりそれをやれば喜んでもらえるというような仕事の仕方はしない。
- ・他市で勤務していた職員の話になるが、9 年間、市で務めていたが、市のやりかたは違うと思い、退職されて、今は自営業をしているという人がいた。せっかく市のためと思って入庁した職員が辞めてしまった例である。その場しのぎではなく、やりがいのある仕事

をしてもらいたい。部下はよく見ている。

- ・様々な要望あるが、ほとんどの方は説明するとわかっていただける。ただし、情報不足があるので、情報を発信し、きちっと説明することが大事である。
- ・学校に軽トラックで侵入して傷害負わせた事件について。学校から保護者への報告が遅かったことが問題となったが、原因は危機管理を教頭一人でやっていたためであった。権限を分散しないと大変なことになる例である。災害時の対応も同じである。危機管理について権限分散を。職員自身の仕事のしやすさにもつながる。よくやっているといると思うが、改めて意識して取り組みを。

### 3 会議事項

#### (1) まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

- まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について担当部長等から説明。

#### (2) 地方創生関連交付金事業の効果検証について

- 地方創生関連交付金事業の効果検証概要について政策推進課長から説明。

#### (3) 各部課連絡事項等について

- 新型コロナウイルスの市内の感染状況及び感染予防の徹底について健康福祉部長より説明。

### 4 その他

- 今後の日程の確認

### 5 閉会

(了)